

第1次基本集計結果の概要－人口等基本集計－

1 人口の規模と推移

- ・小平市の人口は、190,005人で、前回調査から1.6%増加（図1、統計表1）
- ・都内26市で、人口は6番目に多く、人口増加率は12番目に高い（図2、統計表5）

(1) 日本の人口

平成27年10月1日を基準日として行われた国勢調査による日本の総人口は、1億2,709万5千人で、前回調査に比べ**96万2千人（0.75%）の減少**となりました。

(2) 東京都の人口

東京都の人口は、1,351万5千人で、前回に比べ**35万6千人（2.70%）の増**となりました。特に区部の増加率が3.66%で、市部の増加率2.74%を上回っているのが特徴的です。都心部への人口集中傾向がうかがえます。

(3) 小平市の人口

小平市の人口は190,005人で前回調査に比べ、**2,970人（1.59%）の増**となりました。

図1 小平市における国勢調査人口の推移

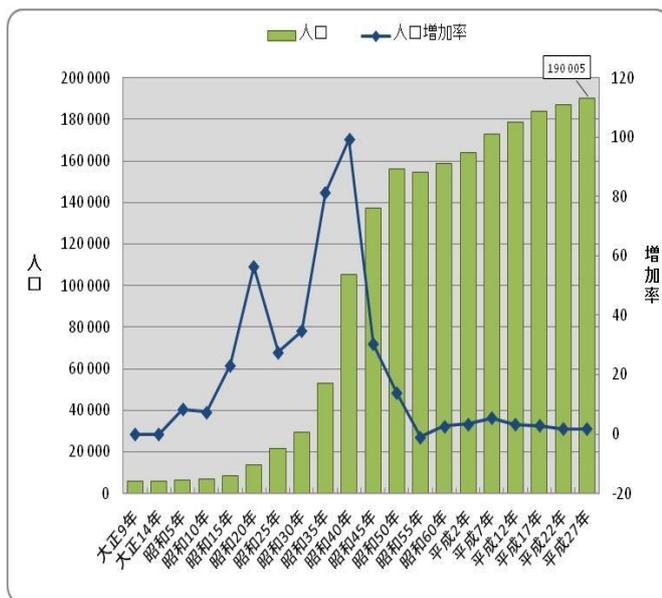
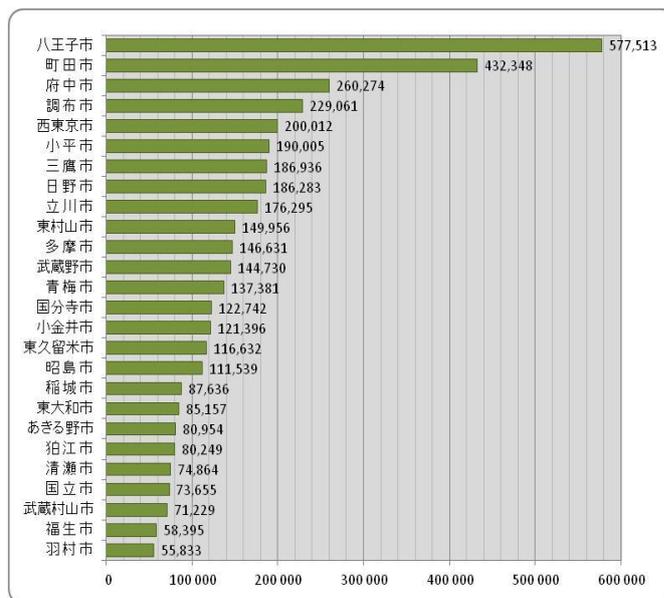


図2 26市別人口比較



26市の人口の状況を見ると17市で増加し、9市で減少となりました。

なお、人口が増加・減少した市を増減率順に見ると次の通りとなります。

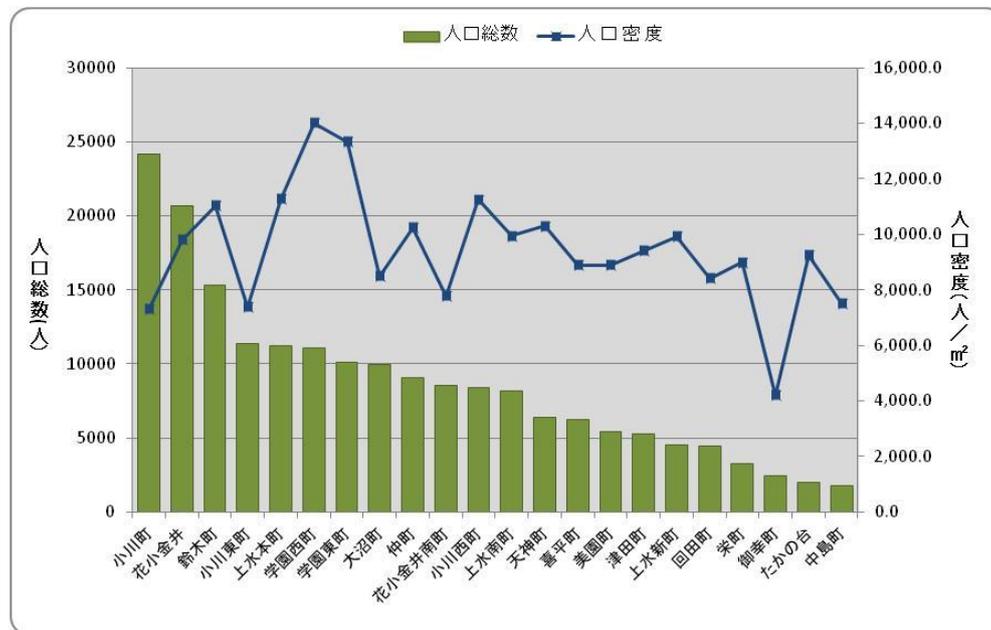
	人口が増加した市	人口が減少した市
1位	武蔵野市 (4.32%)	国立市 (Δ2.46%)
2位	日野市 (3.46%)	東村山市 (Δ2.35%)
3位	稲城市 (3.30%)	福生市 (Δ2.34%)
4位	東大和市 (2.51%)	羽村市 (Δ2.10%)
5位	調布市 (2.45%)	立川市 (Δ1.88%)

(4) 町別の人口と人口密度

小平市の人口を町別にみると、小川町が一番多く、次いで花小金井、鈴木町となっています。人口密度をみると、学園西町が一番高く、次いで学園東町、上水本町となっています。

(図3、統計表4-2)

図3 町別の人口と人口密度



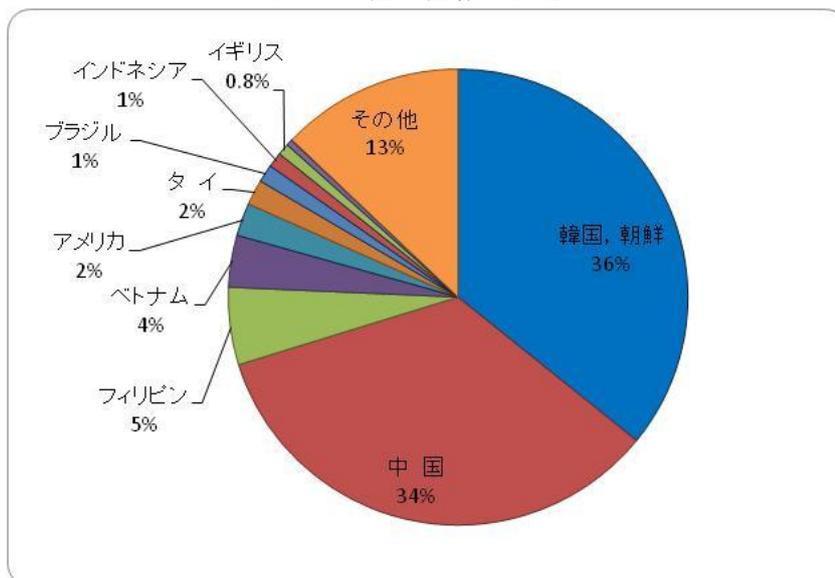
(5) 外国人の人口

小平市の外国人は3,971人で、前回調査と比べ、**26%の増**となりました。(統計表9)

なお、国籍別に割合をみると、韓国・朝鮮が36%、中国が34%と全体の7割を占めています。

(図4)

図4 外国人国籍別割合



2 男女、年齢別に見る小平市の人口

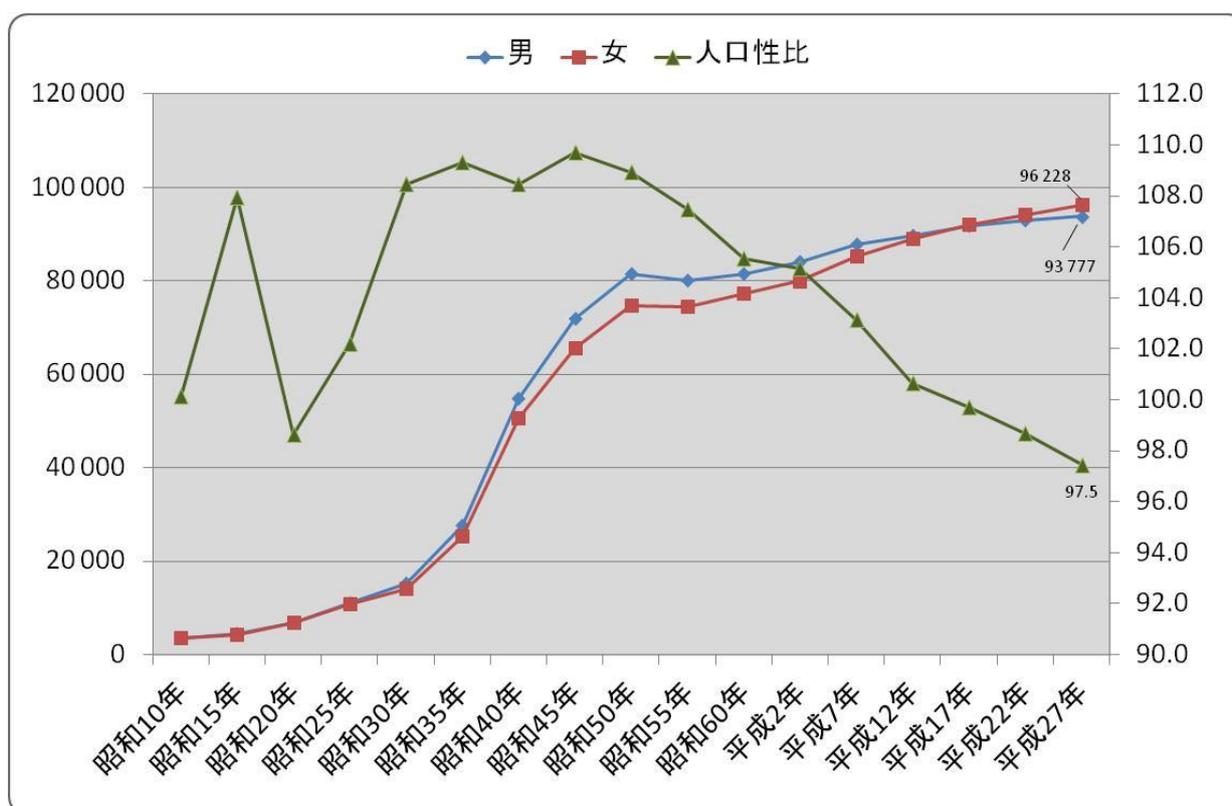
- ・小平市の人口は男子が 1.0%、女子が 2.2%増加
- ・人口性比（女子 100 人に対する男子の数）は 97.5 で、全国の 94.8、東京都の 97.3 を上回る
- ・年齢 3 区分別人口を見ると、老年人口が 12.7%の増

(1) 男女別に見る人口

小平市の人口を男女別に見ると、男子が 93,777 人、女子が 96,228 人で、前回調査に比べ、男子が 891 人（1.0%）、女子が 2,079 人（2.2%）の増となりました。（統計表 1）

人口性比を見ると、平成 17 年調査時から男子人口が女子人口（100）を下回るようになり、平成 27 年調査では、97.5 となりました。これは女性の寿命が延びていることが要因と考えられます。

図 5 男女別人口の推移と人口性比



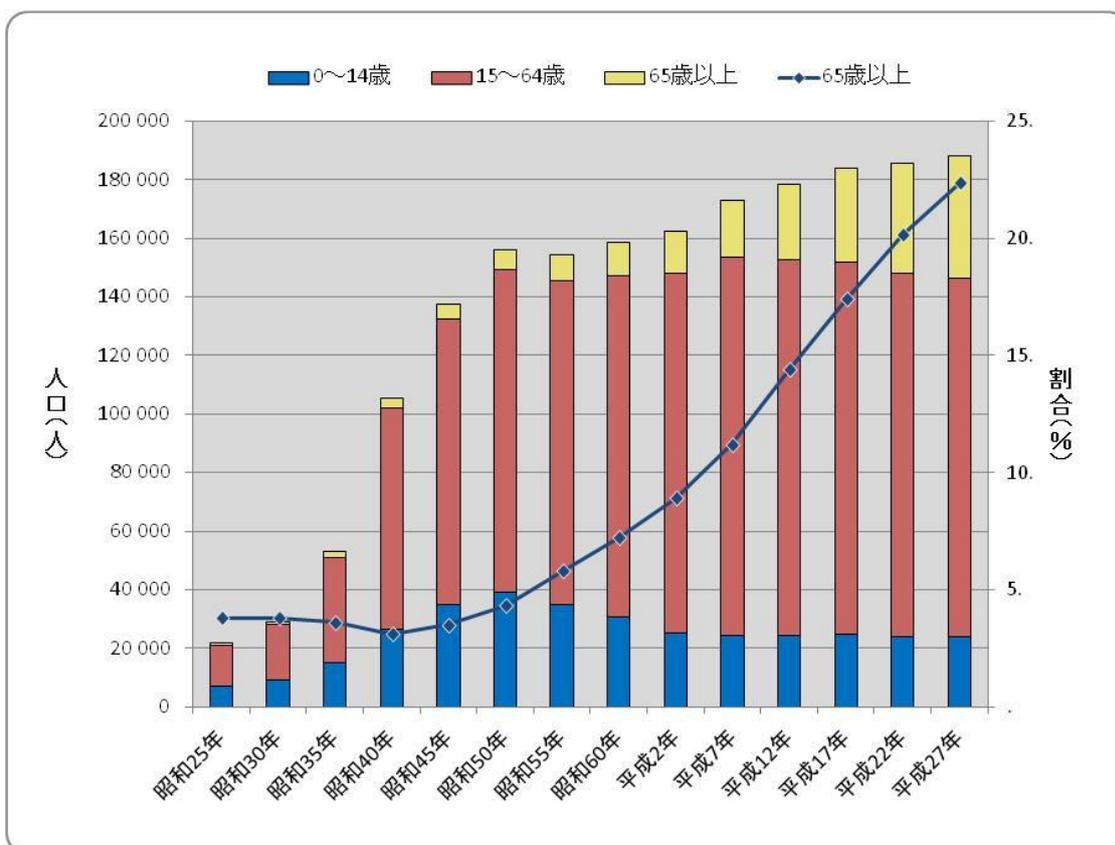
(2) 年齢別にみる人口

小平市の年齢階層別の人口をみると、年少人口（0～14歳）が 24,118 人（12.8%）、生産年齢人口（15～64歳）が 122,046 人（64.8%）、老年人口（65歳以上）が 42,139 人（22.4%）となります。（図 6、統計表 2）

前回調査に比べ、年少人口は、344 人（1.4%）の増、生産年齢人口は 2,296 人（1.8%）の減、老年人口は 4,755 人（12.7%）の増となりました。

なお、東京都の年齢 3 区分別の割合は、年少人口 11.5%、生産年齢人口 65.9%、老年人口 22.7%となっています。

図6 年齢3区分別人口と65歳以上人口の割合



なお、町丁別に見ると、高齢者の割合がもっとも高い町・低い町は、以下の通りとなります。

	高齢者割合が高い町	高齢者割合が低い町
1位	喜平町3丁目 (44.2%)	小川東町3丁目 (0.1%)
2位	小川東町2丁目 (40.6%)	喜平町2丁目 (3.7%)
3位	美園町3丁目 (40.5%)	上水本町5丁目 (9.9%)
4位	小川東町4丁目 (34.7%)	小川東町5丁目 (13.1%)
5位	小川西町3丁目 (34.1%)	花小金井7丁目 (13.9%)

(3) 小平市の平均年齢

小平市の平均年齢は、43.9歳（男子42.6歳、女子45.2歳）で、この5年間で1.0歳上昇しました。東京都の平均年齢は、44.7歳（男子43.4歳、女子46.0歳）で、小平市は東京都の平均を下回る結果となりました。

なお、町丁別にみると、平均年齢が最も高い町・低い町は以下の通りとなります。

	平均年齢が高い町	平均年齢が低い町
1位	喜平町3丁目 (56.8歳)	小川東町3丁目 (27.4歳)
2位	美園町3丁目 (54.2歳)	喜平町2丁目 (32.9歳)
3位	小川東町2丁目 (53.7歳)	上水本町5丁目 (35.0歳)
4位	小川東町4丁目 (51.7歳)	花小金井7丁目 (37.1歳)
5位	小川西町3丁目 (50.2歳)	大沼町6丁目 (37.7歳)

3 配偶関係

・配偶関係別に見ると、有配偶者は男性 56.1%、女子 54.4%。未婚率は、男女ともに平成 2 年以降減少している。(統計表 6)

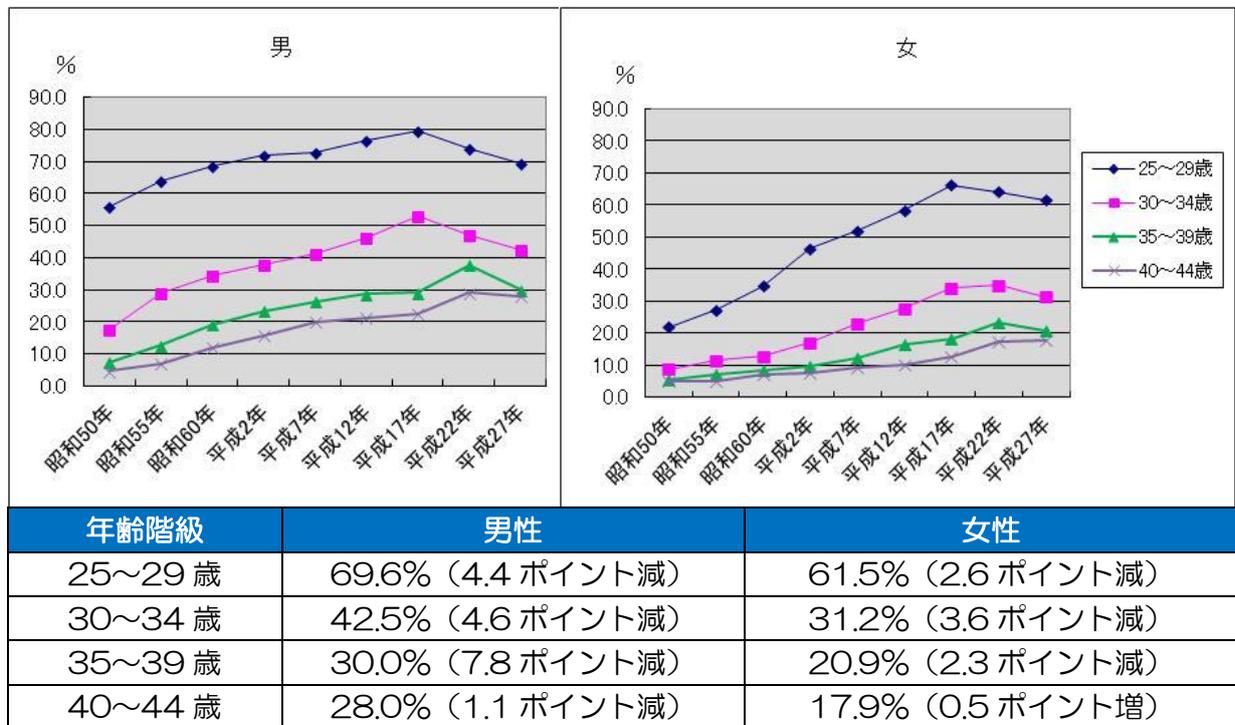
(1) 小平市全体の未婚率

小平市の未婚率を男女別にみると、男性 34.0% (前回調査に比べ 2.9 ポイント減)、女性 27.2% (同 1.4 ポイント減) となりました。なお、東京都は、男性 33.3%、女子 27.6%となります。

(2) 年齢階級で見る未婚率

男女別、年齢階級別に未婚率の推移をみると、25 歳～29 歳の未婚率が高く、平成 17 年までは増加傾向にありましたが、平成 22 年以降は減少に転じています。

図 8 25 歳～44 歳の男女別 5 歳階級別未婚率の推移



※ () 内は前回調査時との比較

4 世帯

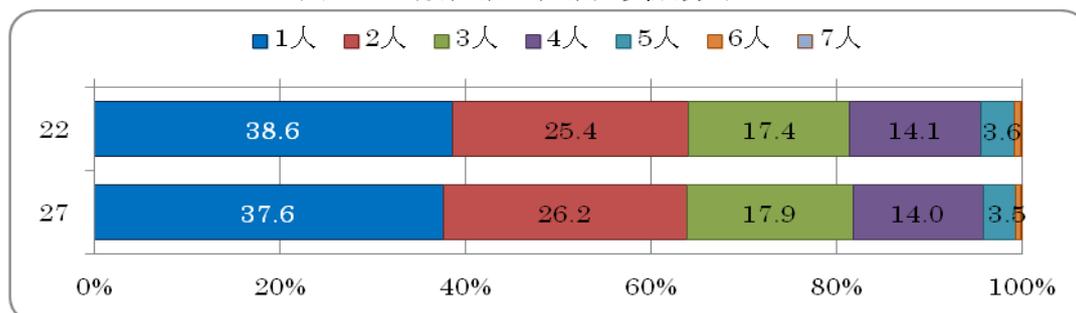
- ・小平市の総世帯数は 82,888 世帯で、前回調査と比べ 1,104 世帯の増
- ・世帯人員は 190,005 人で、2,970 人の増
- ・一般世帯 1 世帯あたり人員は前回とおなじ 2.22 人（統計表 7）

(1) 一般世帯の世帯人員別分布

一般世帯は 82,768 世帯、一般世帯人員は 183,966 人となります。

このうち 1 人世帯が 31,095 世帯で、世帯人員別割合は前回調査から 1 ポイント減、2 人世帯は 21,706 世帯で 0.8 ポイント増、3 人世帯は 14,835 世帯で 0.5 ポイント増となりました。4 人以上の世帯は概ね減となっています。（図 9、統計表 7）

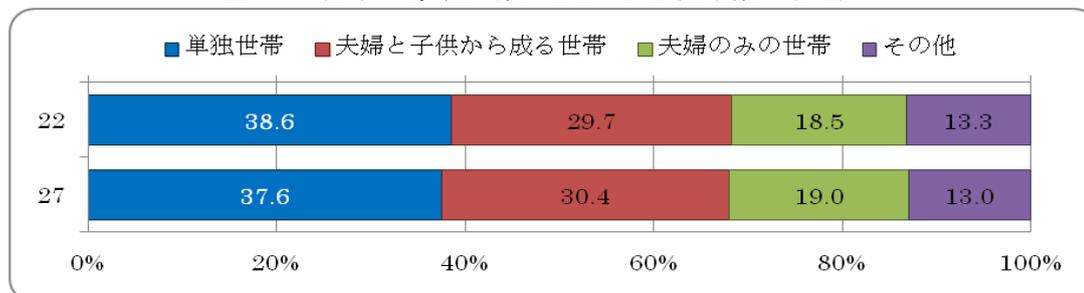
図 9 一般世帯の世帯人員別分布



(2) 世帯の家族類型別にみる世帯数

「単独世帯」が 31,095 世帯で、世帯の家族類型別割合は前回調査から 1 ポイントの減、「夫婦と子供からなる世帯」が 25,182 世帯で 0.7 ポイントの増、「夫婦のみ世帯」が 15,757 世帯で 0.5 ポイントの増となりました。（図 10、統計表 10）

図 10 世帯の家族類型別にみる世帯数の割合



なお、これを町丁別にみると、単独世帯の割合が高い町は以下の通りとなります。

	単独世帯割合が高い町	単独世帯割合が低い町
1位	小川東町 4 丁目 (68.7%)	大沼町 5 丁目 (17.1%)
2位	美園町 2 丁目 (56.5%)	大沼町 6 丁目 (17.2%)
3位	学園東町 3 丁目 (54.3%)	大沼町 3 丁目 (18.8%)
4位	花小金井 6 丁目 (53.2%)	上水本町 6 丁目 (20.7%)
5位	学園東町 1 丁目 (51.7%)	上水本町 3 丁目 (22.1%)

また、1 世帯あたり人員が最も多い町は、大沼町 5 丁目 (2.90 人) であり、以下大沼町 3 丁目 (2.82 人)、大沼町 6 丁目 (2.73 人)、花小金井 8 丁目 (2.61 人)、上水本町 5 丁目 (2.58 人) となっています。

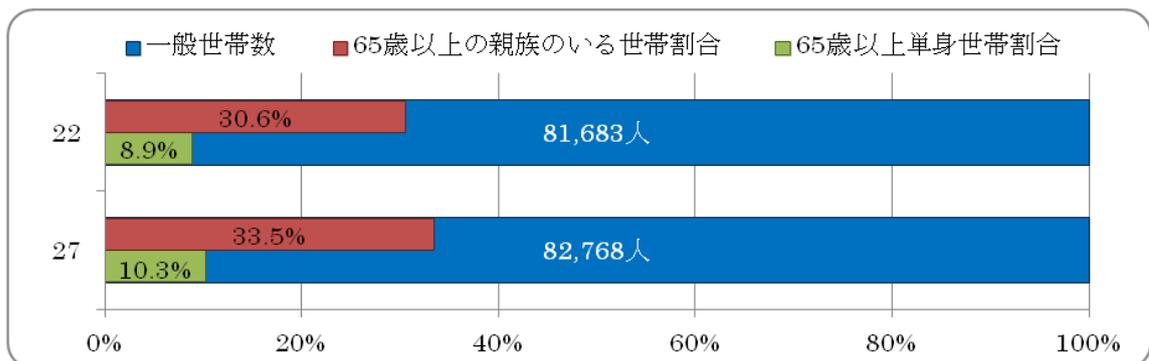
(3) 65歳以上親族のいる世帯数

小平市の65歳以上親族のいる一般世帯は27,699世帯（一般世帯の33.5%）で、前回調査に比べ**2,717世帯（2.9ポイント）の増**となりました。なお、東京都は30.9%です。（図11、統計表15）

(4) 65歳以上単身世帯

65歳以上の単身世帯は、8,486世帯（一般世帯の10.3%）で、前回に比べ**1,227世帯（1.4ポイント）の増**となりました。（図11、統計表15）

図11 65歳以上親族のいる世帯及び65歳以上単身世帯の割合



なお、これを町丁別にみると、65歳以上の単身世帯の割合が高い町・低い町は以下の通りとなります。

	65歳以上単身世帯の割合が高い町	65歳以上単身世帯の割合が低い町
1位	喜平町3丁目（25.3%）	小川東町3丁目（0.0%）
2位	小川東町4丁目（24.1%）	喜平町2丁目（0.8%）
3位	小川東町2丁目（23.4%）	大沼町5丁目（4.5%）
4位	津田町3丁目（19.8%）	小川東町5丁目（5.0%）
5位	大沼町7丁目（19.5%）	大沼町3丁目（5.0%）

5 住宅

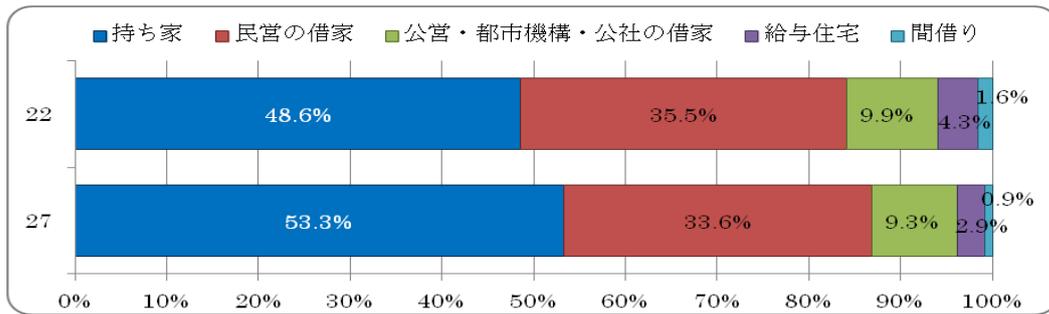
・住宅の所有の関係をみると、持ち家に住む世帯が43,486世帯で最も多く、住宅に住む一般世帯の53.3%を占めている。（図12、統計表11）

(1) 持ち家に住む割合

持ち家に住む世帯が43,486世帯（53.3%）で、前回調査に比べ4.7ポイントの増、民営借家の世帯が27,446世帯（33.6%）で1.9ポイントの減、公営借家の世帯が7,620世帯（9.3%）で0.6ポイントの減、給与住宅の世帯が2,403世帯（2.9%）で1.4ポイントの減、住宅に間借りしている世帯が706世帯（0.9%）で0.7ポイントの減となっています。

なお、東京都の住宅の所有の関係割合をみると、持ち家に住む割合が47.7%、民営の借家が40.6%、公営の借家が7.4%、間借りが1.3%、給与住宅が2.9%となり、小平市は持家に住む傾向が高いことがうかがえます。

図 12 住宅に住む一般世帯の住宅の種類割合



(2) 住宅に住む 65 歳以上の親族のいる一般世帯

住宅に住む 65 歳以上の親族のいる一般世帯の住宅所有の関係をみると、持ち家に住む世帯が、20,082 世帯 (72.7%) で最も多く、続いて公営・都市機構・公社の借家が 4,215 世帯 (15.3%)、民営の借家が 3,122 世帯 (11.3%) となっています。(統計表 15 表)

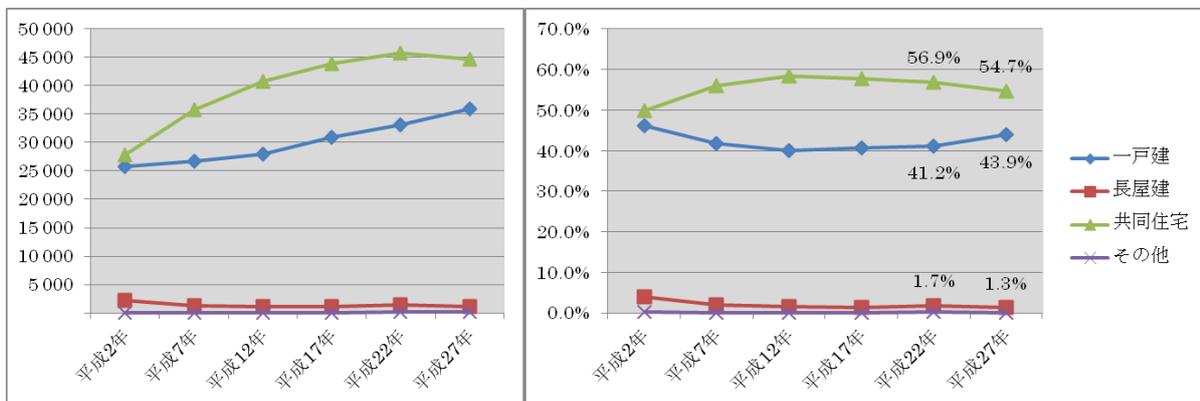
住宅に住む一般世帯のうち、持ち家に住む一般世帯数が 43,486 世帯であるため、持ち家に住む世帯のうち 46.2% が 65 歳以上の親族を含む世帯ということになります。

(3) 住宅に住む一般世帯の建て方別内訳

住宅に住む一般世帯について、住んでいる住宅の建て方別の内訳を見ると、共同住宅に住む世帯が 44,664 世帯 (54.7%) で最も多く、以下一戸建てに住む世帯 35,887 世帯 (43.9%)、長屋建ての住宅に住む世帯が 1,023 世帯 (1.3%) となっています。

前回調査に比べ、一戸建てに住む世帯は 2.7 ポイント増加し、長屋建てに住む世帯は $\Delta 0.4$ ポイント、共同住宅に住む世帯は $\Delta 2.2$ ポイントと減少となりました。(図 13、統計表 13)

図 13 住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数・割合
<世帯数> <割合>



なお、これを町丁別にみると、一戸建ての割合が高い町は以下の通りとなります。

	一戸建ての割合が高い町	一戸建ての割合が低い町
1位	上水新町2丁目 (82.4%)	喜平町2丁目 (0.2%)
2位	上水新町1丁目 (82.1%)	小川東町3丁目 (0.3%)
3位	大沼町5丁目 (79.3%)	小川東町4丁目 (2.7%)
4位	栄町3丁目 (77.2%)	花小金井南町1丁目 (9.3%)
5位	上水新町3丁目 (77.0%)	小川西町2丁目 (11.7%)

※小川東町2丁目、喜平町3丁目は一戸建てに住む世帯はない。